

平成27年度 第5回幹事会

日時：平成28年1月29日（金）

14：00～16：00

会場：メートプラザ佐賀 大会議室



佐賀県高度情報化推進協議会

【本日の次第】

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(1) 買い物困難者対策に係る事業計画策定の進捗状況の報告及び会員へのプロジェクトチーム参画の募集について

【決議事項】

(2) 来年度の高情協の活動の方向性について

【協議事項】

(3) 高情協HP再構築後における広報活動の方向性について

【報告事項】

4 その他

第6回幹事会の日程について

5 閉会

【会議の目的】

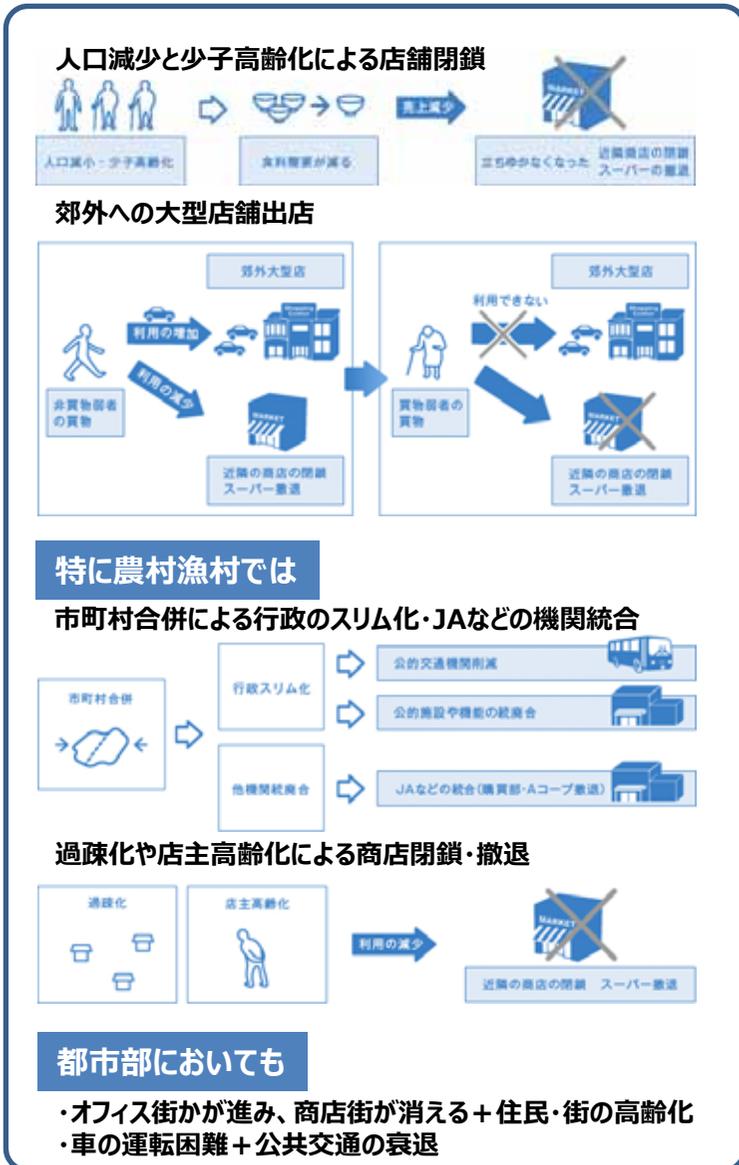
- 1 買い物困難者対策に係る前回幹事会以後の**進捗状況**についてご報告するとともに、**会員への参画募集**について**ご了解**いただく。
- 2 前回の議事【3】「来年度の高情協の活動の方向性について」を踏まえ、**既存事業の改善や新規事業のアイデア**などについてご議論いただき、来年度の事業計画に反映する。
- 3 高情協HP再構築後における**広報活動の方向性**について、**広報Gの方針**をご報告いただき、ご意見等いただく。

議題（１）買い物困難者対策に係る事業計画策定の進捗状況の報告及び会員へのプロジェクトチーム参画の募集

買い物困難者対策に係る前回幹事会以後の**進捗状況**についてご報告するとともに、**会員への参画募集**について**ご了解**いただく。

ICTを活用した買物困難者支援事業の背景と目指すもの

「買い物弱者」や「買い物難民」。経済産業省の試算では600万人、農林水産省では食料品の買い物が困難な高齢者は380万人から1100万人とされています。



今後も買物困難者は増加

日本では小売業の店舗数は1980年代前半をピークに減少し、逆に総売場面積は増加しています。これは大型店の拡大で売場は拡大している一方で、売場面積の小さい「商店街のお店」などが減少していることを示しています。さらに日本では、2020年には60歳以上の人口割合が35%を超えると推計されており、外出が困難になる人たちの増加が予測されます。

買物は地域の暮らしに必要不可欠

「買い物弱者」の発生は、地域の暮らしにくさにつながります。暮らしにくいことにより地域から人が流出すると、特に農山漁村においては過疎化につながり、さらなる店舗や交通網の撤退や廃止につながります。特に若年層の流出は、地域の高齢化に拍車をかけます。買物に不便な状況を放置してしまうと、より状況が悪化する可能性があります。

買物困難者対策

顧客と流通の接近を図ることがポイント

- | | |
|----------------|-------------------|
| ① 近くに店をつくる | NPO等による共同店舗 |
| ② 店への交通手段を提供する | 買い物バス/デマンド交通 |
| ③ 商品を届ける | ネットスーパー、御用聴き |
| ④ 店舗を届ける | 移動販売車、移動店舗（商店街協同） |

ICT活用によるアプローチ領域

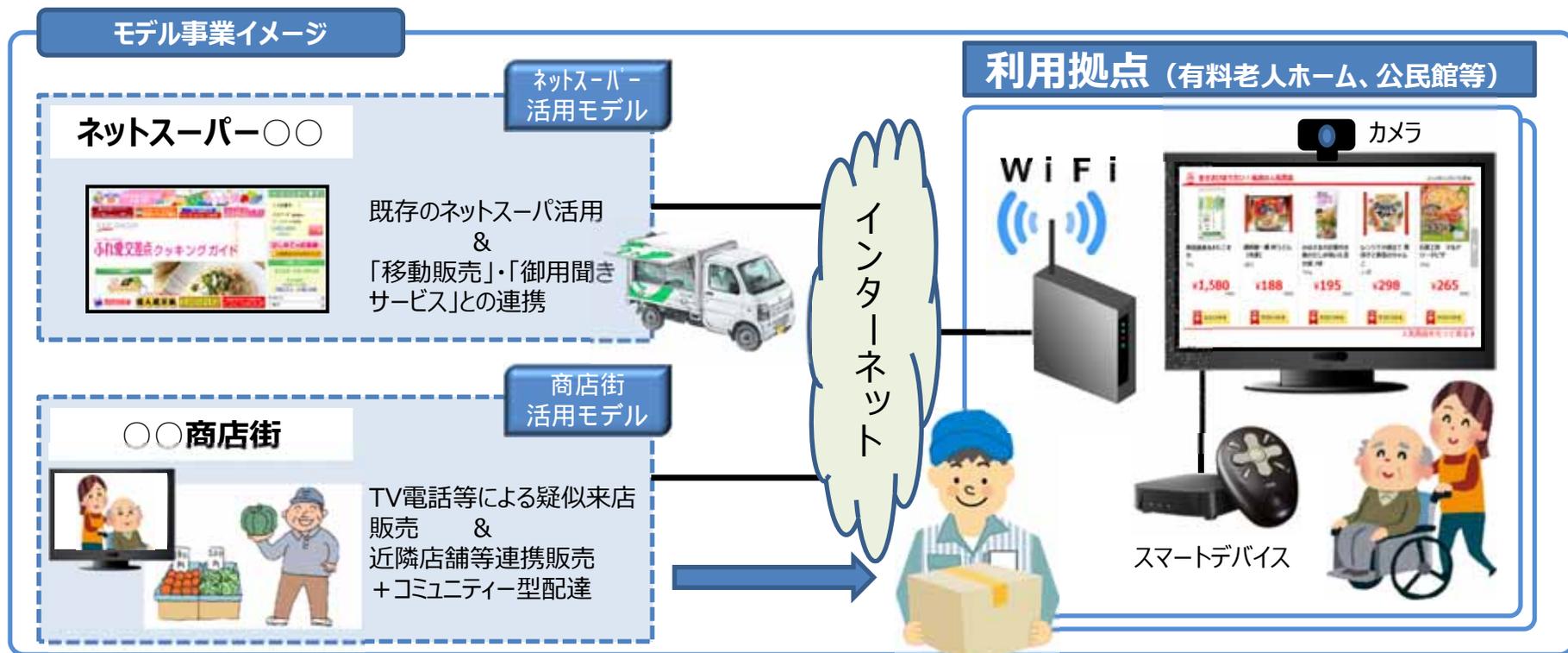
- | | |
|----------------|-----------------------|
| ① 近くに店をつくる | → 既存店舗と高精細テレビ電話（空間共有） |
| ② 店への交通手段を提供する | → デマンド交通システム |
| ③ 商品を届ける | → ネットスーパー + 物流 |

支援事業の目指すもの

ICTの活用により補助を前提としない継続可能な事業とする
 →その為には・・
 利用者メリットの実感に基づく、適正な受益者負担の見極め
 地域連携した事業運営基盤の構築（自治体等との連携）

ICTを活用した買物困難者支援事業の概要

- 買い物利用者が共同で利用する「拠点施設」へ、テレビ+スマートデバイスを活用した買い物環境を設置
- ICT活用上課題となる①環境整備&ランニング費用への一定期間の補助、②機器の使いこなしサポート等により、まずは買い物が便利になったとの実感を先行体験させ、適正コスト負担による継続利用へ繋げる。
- モデル事業検証結果を同様の課題を持つ他の地域へ展開。更には拠点利用から個人宅利用への発展も指向



- 佐賀県高度情報化推進協議会による事業実施に向けたステップ
 - H28年 1月 : モデル事業実施地域と事業の基本的な枠組みの検討。(方式検討用検証機器の購入)
 - 2月以降 : 実証事業の方式(複数)、評価方法、事業予算の策定。事業運営体制準備など
 - 5月末 : 高度情報化推進協議会総会にてH28年度事業案として付議し、承認受ければ実施決定
- 実証事業イメージ 7月以降、実施事業拠点においてICT環境を整備し、6ヶ月程度の間買い物支援事業を展開

I C Tを活用した買物困難者支援事業の実施に向けた取り組み状況

H28年1月26日現在

ネットスーパー活用モデル

早くからネットスーパー事業を営まれ、TVによる受注の仕組みも整備されていた「まいづる百貨店」の地場である唐津地域をフィールドとして、高齢者のI C T機器使いこなしサポート及び、移動販売事業者との連携による買い物をベースとする生活全般の利便性の向上などを想定し、関係者への協力要請を実施。

(1) 流通事業者 ①まいづる百貨店 + ②買い物応援隊「御用聞き」（代表：坂本様）

(2) 実施方式

- ・ネットスーパーによる食品、日用品の注文販売と移動販売車による生鮮食品等の追加販売と御用聞きによる各種支援サービスの提供。
- ・拠点としては、山間集落などの他、市街地老人ホームやデイケアセンター、地域包括支援センターとの連携も視野

(3) 検討状況

- ・流通事業者の協力意識は強く、意図するネットスーパーと移動販売の連携には目途。
- ・拠点については、まいづるによる厳木ロケの自前開設（時期未定）、地域包括センターや介護施設調整の見通し
- ・行政は、特定事業者の営利につながるものとして、直接的な支援は困難との見解。拠点設定は、独自前提
- ・I C T使いこなしサポート体制については、今後調整

事業関連組織	対応状況
まいづる百貨店 (ネットスーパー)	既存ネットスーパーサービスの活用の協力を了承。拠点についても、厳木地域の閉鎖店舗内に、地域住民のコミュニティスペースとともに買い物機能を設けることを、地元選出の市議会議員等へ働きかけする。
買い物応援隊 (生活支援)	唐津全域の買い物困難地域における支援世帯を拡大中。ネットスーパーとの連携について協力を確認。複数の介護施設や地域包括支援センターから買い物や生活支援の引き合いが既にあるため、実証事業拠点の設定では連携が可能との認識
唐津市商工ブランド課、 教育委員会（拠点設置への協力）	事業への理解はいただけたが、特定事業者の営利活動とも取れるため、市が管理する公民館（25か所）等の利用など市が拠点設置に関与することは困難。自治公民館については、管理する区長等の理解と施設運営が前提との見解（関連部局への紹介は可能）介護施設等については市のHP掲載のリスト活用し、直接対応してほしい。
唐津商工会議所	事務局長への説明済。I C T活用したビジネスの意義は大きい。特定業者の先行は、水平展開前提であれば問題ないとの見解
その他	I C T使いこなし支援への協力を想定する唐津情報都市推進協議会やシニアネット等への対応は今後実施

ICTを活用した買物困難者支援事業の実施に向けた取り組み状況

H28年1月26日現在

商店街活用モデル

ICT活用までも含めた活性化へ熱心に取り組まれている地元商店街が存在し、買い物への不便さを抱える地域までもカバーするCATV+光による情報基盤が整備されている多久市をフィールドとして、「ICT基盤を持たない商店街」における遠隔販売方式と地域コミュニティ連携による配達、決済方式などの実現・検証を図ることなどを想定し、関係者への協力要請を実施。

(1) 流通事業者 ①中多久マーケット店舗群 + ②商店街の品揃えを補完する近隣店舗等 (今後調整)

(2) 実施方式

- ・利用拠点として想定される公民館と商店街をテレビ電話サービス等で繋いだ食品、日用品等の擬似対面販売
- ・複数店舗連携した注文、配達、決済の仕組みをつくり事業を通じて検証。
- ・地域コミュニティ活用した配達の仕事みづくり (車持込みボランティアの組織化 / 福祉弁当宅配との連携)
- ・商店街が取り扱わない商品については、買い物利用者の利便性向上のため近隣店舗や百貨店等との連携も視野

(3) 検討状況

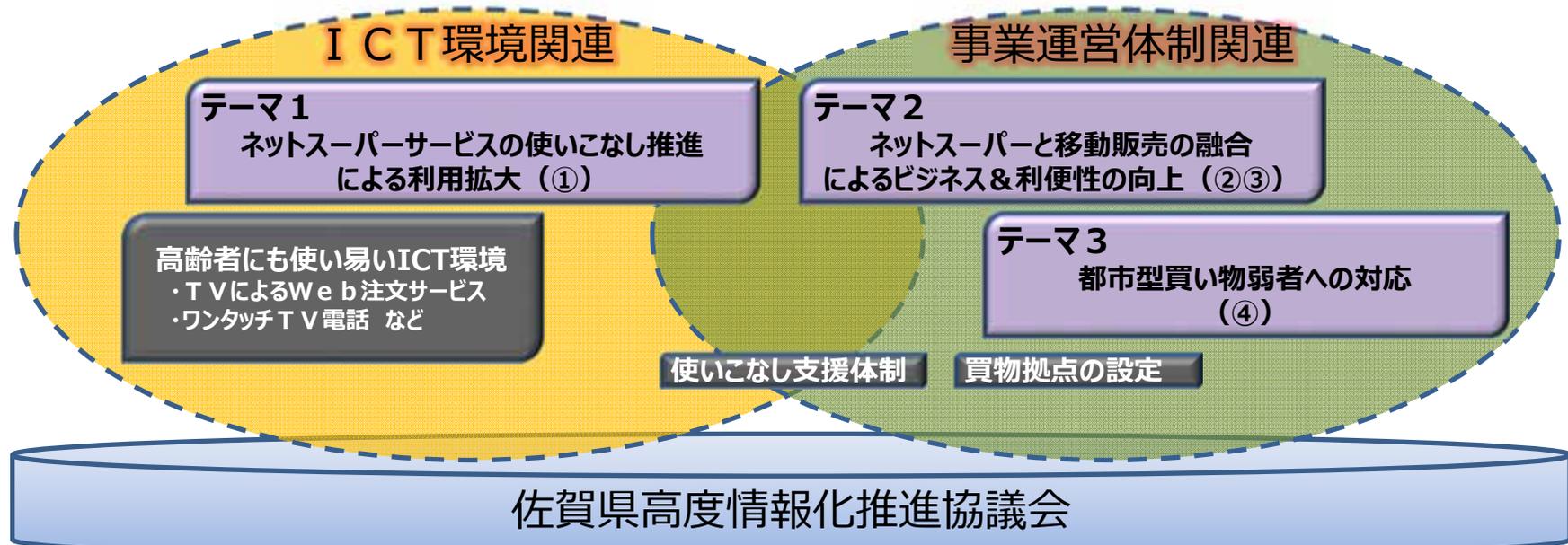
- ・商店街代表者の取り組み意欲は強く、今後、商店街各店舗経営者の理解を得る取り組みへ移行
- ・拠点については、西多久地区公民館を想定 (地域のニーズ等確認し、今後具体的な拠点を検討)
- ・行政は、地域課題解決事業をICT基盤の利活用として推進できることに意義をお感じいただいております、情報課 商工観光課が核となって、商店街等との連携も意欲的に調整いただいております。
- ・ICT使いこなしサポート体制については、今後調整

事業関連組織	対応状況
中多久マーケット (商店街)	米満代表への説明の結果、協力をいただけることを確認。商店街活性化の為、毎月イベントを開催する等意欲あふれる取り組みをされている。宅配販売については、独自に検討されていたタイミングであったこと、県の補助を受けたW i F iにより高校生等の立ち寄り効果が出ていることもあり、ICT活用にも強い意欲を持たれている。
多久市情報課、商工観光課等 (事業運営全般協力)	多久市長、情報課、商工観光課への説明の後、商店街対応を実施した結果、取り組みに前向きな意向が確認されたことから、関係各者 (生涯学習課、商工会、CATV事業者) を集めた会議開催の予定 (25日予定が延期)。関係者意識合わせの後、正式な市長への協力依頼を実施することで、拠点設定の他、各種課題への協力はいただける状況。シェア型の配達体制などは新規性あり。
多久商工会	会長、事務局長への概略説明程度。今後開催予定の関係者会議で、正式に協力依頼予定。
その他	ICT使いこなし支援への協力を想定する多久パソコンクラブ等への対応は今後実施 商店街と連携する地域店舗や百貨店などとの対応についても今後実施

ICT買い物弱困難者支援事業「ネットスーパー活用モデル」検討

課題と検証のポイント

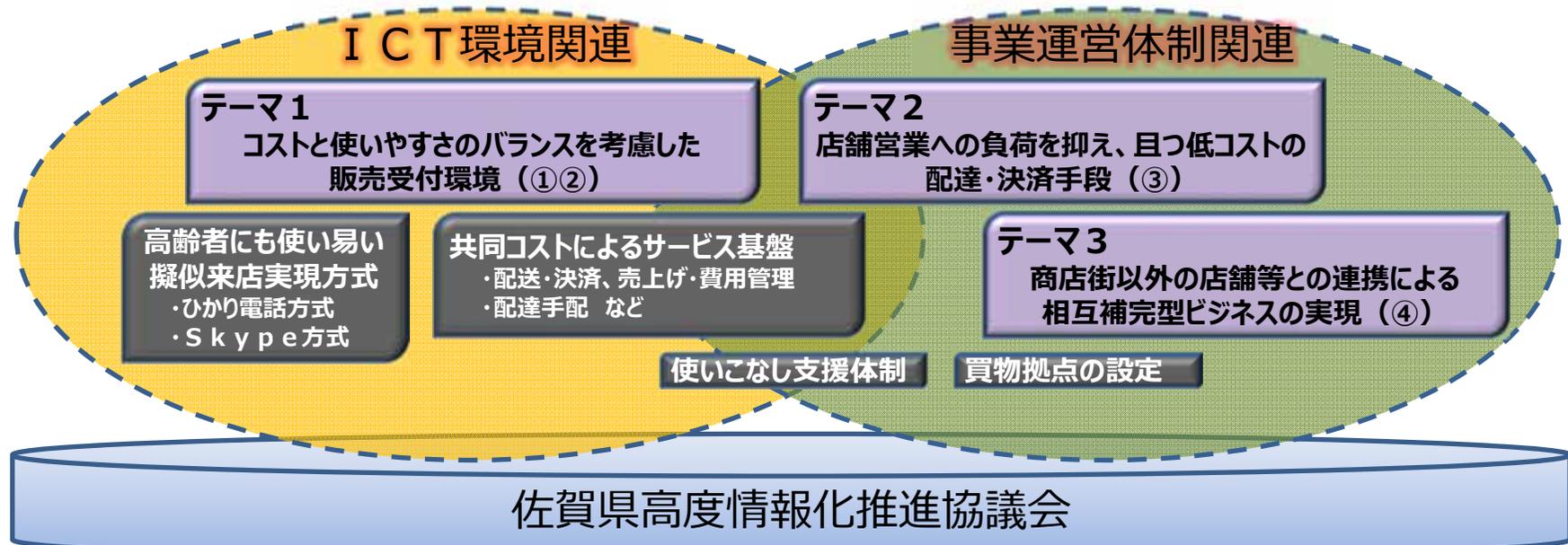
- ① ネットスーパーの利用は、買い物弱者層にとって有効な手段でありながら、高齢者率が高いこともあり、ICT機器の使いこなしや、買い物以外へのネット活用のニーズを持たない場合のICTコスト負担の大きさが敬遠され、買い物弱者の大勢を占めると想定される高齢者層への利用は拡大していない。
- ② 鮮魚（お刺身など）など品物を見て購入を決めたい商品は、ネットスーパーでは購入されにくい傾向にあり、食品・日用品の購入以外の生活支援ニーズも含め、ネットスーパーだけでは、多重の弱者ともなっている可能性の高い利用者の生活全般に渡るニーズにこたえきれない。
- ③ 軽トラック等による移動販売は②の課題改善の可能性を持つが、売れ残りリスクの為、品ぞろえは増やしにくく、御用聞き型の事業スタイルは、対象地域や利用者の拡大が難しい。
- ④ 市街地域においても、大規模店進出などによる商店街の衰退などから都市型の買い物弱者が発生。介護施設、老人ホームなどにおいても自由に買い物ができない入居者が発生している。



I C T 買い物弱困難者支援事業「商店街活用モデル」検討

課題と検証のポイント

- ①経営上独立した店舗の集合体であり、販売の拡大など具体的な効果の見えない段階では、共同利用型の I C T 環境への投資は難しい。
- ②店舗毎商品への注文受け付け方式と運営体制が課題。安易に人を雇用することは固定費の増大に直結し、自立的な事業として継続する為にも、ビジネスが十分に拡大・安定しない段階では困難。
- ③店舗営業しながら遠隔地への配達や集金を自前で実施することの負担は大きい。
配達手段や体制の構築にあたっては、そのコストを抑えることと共に、現金によらない決済手段や配達との分離が重要と考えられる。
- ④商店街により構成する業種・店舗は区々であり、嗜好品やライフイベント型の消費（中元・歳暮、贈答、法事など）も含めれば、利用者のニーズを満たしきれない。
- ⑤事業の運営に要する費用や稼働は、個店の売上げのバラつきなどに応じ、納得感が得られる負担であること



現状のまとめ①

実証事業の目的

買い物困難者対策として、流通事業者（スーパー、商店街など）が、他の主体と協働した取組を実施するに当たり、ICTが買い物困難者対策に有効であることを実証事業を通じて明らかにする。

実証事業における高情協の取組

- ①全体プランニング
- ②環境整備&ランニング費用への一定期間の補助
- ③機器の使いこなしサポート

想定されるプレイヤーと役割

役割	ネットスーパー活用モデル	商店街活用モデル
利用者	拠点型（公民館、市街地老人ホームやデイケアセンター、地域包括支援センターなど）	
販売	まいづる百貨店（ネットスーパー）	中多久マーケット、近隣店舗、百貨店等
物流	まいづる百貨店/「買い物応援隊（宅配）」	宅配事業者、福祉弁当、地域住民など <今後検討>
事業支援等	【拠点設置、配達】買い物応援隊 【支援、横展開】唐津商工会議所 【全般】唐津市商工ブランド課、教育委員会	【全般】多久市情報課、商工観光課、多久商工会等
使いこなし支援	唐津情報都市推進協議会・シニアネット唐津、SIA、ケーブルテレビ事業者等	多久パソコンクラブ、SIA、ケーブルテレビ事業者 等
ICT環境整備	NTT、ケーブルテレビ事業者 等	NTT、ケーブルテレビ事業者 等

現状のまとめ②

現段階で見えてきた課題

現時点では対応できていない課題について、高情協予算により、実施する実証実験期間内に課題解決の方法を探る。

項目	ネットスーパー活用モデル	商店街活用モデル
物流	【対応可】 ・ネットスーパーの配達 ・「買い物応援隊（宅配）」との連携	【実証事業で検証】 個店での配達対応は、継続性・採算性の問題から厳しい。新たな物流手段の検討
決済手段	【対応可】 ネットスーパーの決済手続	【実証事業で検証】 現金によらない決済方式の検討（「物流」手段により方法が左右される）
品揃え	【対応可】 ・日用品はカバー ・鮮魚（お刺身など）など品物を見て購入を決めたい商品は、ネットスーパーでは購入されにくい傾向	【実証事業で検証】 商店街が取り扱わない商品については、買い物利用者の利便性向上のため近隣店舗や百貨店等との連携も視野
利用者側		【実証事業で検証】 ・ICTの使いこなし ・環境整備の費用負担

参考：巖木道の駅での取組の概要 (H28.1.18聞取)

項目	内容
概要	週に一度、旧本山小学校と約4km離れた道の駅巖木『風のふるさと館』の売り場とを「Skype」でつなぎ、お客さんは映し出された野菜や魚、惣菜などの商品を見ながら、気に入った商品を注文し、30分ほどで手元に届けてもらう。
実施期間	2012/10～2015/3 2年半 週1回火曜日
機器整備	購入は、ノートパソコン。プロジェクターなどは役場の備品の貸出
実施体制	<ul style="list-style-type: none">・地域おこし協力隊の和田氏、市職員、集落支援員のうち2名体制（※現金預かりのチェック、臨時の送迎）。・店舗側に道の駅側のスタッフ1名
利用者	平均15名程度。経験者は、30名程度。
平均購入単価	1,000円。サービス利用料は200円
オペレーション	<ul style="list-style-type: none">・協力隊等スタッフが、毎回機材設定・利用者10時集合。スタッフは買い物フォロー。注文。・スタッフが現金を預かり買出し、配送。利用者は「井戸端会議」・11時30分までには配送完了（昼飯に買い物が間に合うように）
臨時のオペレーション	集まりが悪い時（10名以下）は、公用車で送迎して直接買い物

参考：厳木道の駅での取組の概要 (H28.1.18聞取)

項目	内容
福祉的観点	地区の民生委員が利用者の様子をほぼ毎回様子を見にきていた。
事業終了判断	和田さんの任期満了に係る買出し運搬等のコスト。また、道の駅では、日用品が買えない。
関係者の意向	<ul style="list-style-type: none">・道の駅側は、中継体制のみだったため、継続しても良いという意向。・地元からは、公共機関等が軒並み統合撤退という事情もあり、本事業について区長からは、継続要望あり
市担当者所感	<ul style="list-style-type: none">・2名体制については、現金徴収のやり方や利用者が少数の場合の買い出しの送迎をやらない、と決めてしまえば、コストの減につながったかもしれない。・商品紹介と注文商品の仕分け作業を1人の店舗スタッフが行ったことから、仕分け作業中は商品が映らない時間ができた。このあたりの店舗側の商品紹介の工夫があればもっと上手くできたかもしれない。・魚の甘露煮など、加工品の質感が映像では厳しかった。
終了後の検討	「買い物バス」の話が社協から提案されたが、生活路線バスへの補助、廃止路線への福祉バスの運行で、多額の税金を突っ込んでいる中で、買い物だけの第三のバスを運行することは認められないとの判断

佐賀新聞:地域おこし継承に課題 「協力隊員」第1号卒業(2014年09月28日)

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10101/108986>

参考：巖木町での取組の分析

運用にかかる人件費

・地域おこし協力隊員、集落支援員（市職員はフォロー。最後半年は職員で実施）

・期間限定雇用の方の活動が前提となっており、任期後は同じスキームでの継続が困難

買い物の際の現金の取扱い

利用者から現金を預かり、買い物後におつりと領収書を渡す

チェック機能のため2名体制。決済システムの工夫が必要

ICT利活用の場面

道の駅側の品物の映像が、注文品の仕分け作業中は静止画像（タブレットを置いて作業）

両手が自由になるような、眼鏡型のカメラの利用などの工夫が必要

「道の駅」の特質性

野菜、花以外の日用品の買い物ができず、当該取組で必要な「買い物」が完結しない。

品物提供側で対応できない品目への対応（例：取次）についても検討が必要

参考：大町町での取組の概要（H28.1.20県商工課、社協聞取り）

項目	内容
概要	社協の「高齢者困りごと支援事業」の「お助け隊」が活動の一環として、買い物支援を実施。
実施期間	H25.5～（県の補助は今年度まで。町では28度も継続予定） H25：緊急雇用対策事業で実施。数名の販売・配達員の雇用と販売拠点の整備。タブレットで品物のカタログを提示する「御用聞き」を実施 H26：配達の人手不足から、社協事業「高齢者困りごと支援事業」として実施。 H27：販売拠点の廃止。買い物代行のみを社協事業として継続
機器整備	タブレット端末（H25・26。H26末の買い物拠点廃止後の利用なし。）
実施体制	社協登録の「お助け隊」 15名
利用件数	もっとも多い月で、120件の利用
オペレーション	・社協登録のお助け隊が、依頼者からの「困りごと」（例えば電球の取り換えなど）の一環として、買い物代行 ・依頼者から現金を預かり、品物を買出しして、配達。その買い物自体も「困りごと」として、利用者は利用料を「困りごと支援事業」のチケット（200円）で支払。チケットは社協で現金化。
福祉的観点	高齢者世帯への安心見守り

参考：大町町での取組の分析（事務局）

運用にかかる人件費

- ・ H25年度までの数名（緊急雇用対策で雇用）での運用は、注文配達へのスピーディーな対応ができなかった。
- ・ 緊急雇用対策のため、継続的な人件費を賄えない。

・ 26年度からは、運用を社協に依頼し、社協の「高齢者困りごと支援事業」の「お助け隊」の活動の一環として実施することにより事業継続

買い物の際の現金の取扱い

利用者から現金を預かり、買い物後におつりと領収書を渡す

社協登録の「お助け隊」という立場と、利用者の信頼により成立

ICT利活用の場面

販売拠点の閉鎖により、商品カタログのタブレット利用の停止

利用者からの要望を、お助け隊が対面で聞き取る方式での運用

参考：「モリナガ」ネットスーパーに係る過去の経緯

【モリナガのネットスーパーと高情協における経緯について】

- ・2010年 サービス開始。これを契機に高情協入会
ネットスーパーの対象「買物に行けない高齢者」と「子育ての主婦層」
- ・2011年 森本会長と事務局でモリナガを訪問
⇒高齢者に広まっていない状況
⇒CSRの立場からしてもこの事業がシニアに普及することを要望
⇒ネックはパソコン操作と通信料
- ・これを受け、モリナガのネットスーパーの課題解決に向けて、2011年12月の幹事会に以下のような取組の検討について提案
⇒電気通信事業者にタブレット端末の提供と通信料を安く抑えて
⇒ソフト開発業者にはタブレットに対応したネット通販のアプリ開発と管理
⇒高情協は家庭にパソコンやタブレット端末の操作を教習し、同時にブロードバンド加入を促進
- ・その後、具体的な検討に至らず。
- ・2013年 モリナガ 高情協退会

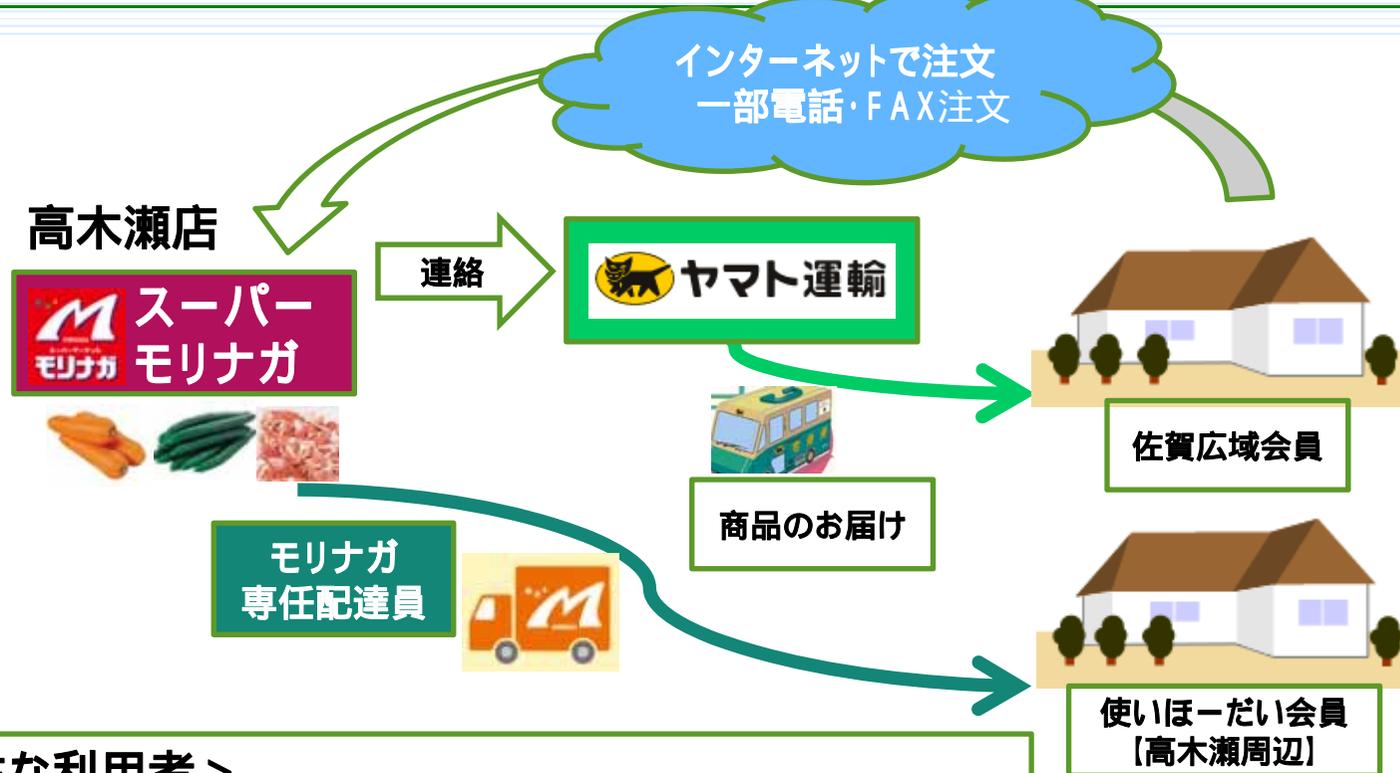
参考：「モリナガ」ネットスーパーの現状

項目	内容
概要	<ul style="list-style-type: none">・2010年12月からサービス開始（会員は400人程度）。同年高情協入会。・注文には高木瀬店の商品を集めて配送。12時までの注文であれば18時までに配送可能。・2016年1月時点では12.5倍の約5,000人まで増加。（ただし、実際に利用されている会員は500人程度。うち60歳以上限定の電話会員50名程度）・会員の中心は小さな子どもをもつ主婦層、親などの介護をしている主婦、買物に行かず配達してもらいたいという裕福な家庭、高齢者。買い物が困難な高齢者のために離れたところに住んでいる家族が注文する事例が増加。・月ごとの平均注文件数は1,000件程度
取扱商品	高木瀬店の取扱い商品からネットスーパー用に選定。生鮮食品や総菜、米、酒、生活用品など約4千点。（ただし、たばこは除く）
注文方法	会員登録後、インターネット（PC、スマホ、タブレット端末）にて注文 [60歳以上限定の電話会員] <ul style="list-style-type: none">・電話・FAXでの注文（クレジット払いは不可）・注文方法は、配布されているカタログをみて行う
利用料	【使いほーだい会員（高木瀬周辺）】 月会費480円 [税込]（月に何回利用しても、1回の買い物額が1,000円以上であれば送料無料。1,000円未満の場合は手数料100円） 【佐賀広域会員（高木瀬周辺以外）】 1回の買い物額 ～3,000円：送料500円

参考：「モリナガ」 ネットスーパーの現状

項目	内容
支払方法	【使いほーだい会員】クレジットカード、口座引き落とし（佐銀・ゆうちょ） 【佐賀広域会員】 クレジットカード、代金引換（1回200円〔税抜〕）
ポイント制	・200円〔税抜〕の買い物につき1ポイント付与 ・500ポイント貯まると、ネットスーパーで使える500円引きクーポンを発行
配達時間 （最速）	【使いほーだい会員（高木瀬周辺）】 [9時まで注文] 12時－14時30分 [9～12時まで注文] 15時－17時30分 ※「留置きサービス（不在でも指定の置き場所に置いておく）」も利用可能 【佐賀広域会員】 [9時まで注文] 14時－18時 [9～12時まで注文] 18時－21時 ※不在時は不在連絡票を入れる
対応エリア	佐賀県内全域 ※高木瀬周辺とは・・・駅前中央、大財、大財北町、神野東・西、新中町、高木瀬団地、高木瀬東・西、高木瀬町、高木町、八丁畷町、日の出、兵庫町藤木、兵庫北、若楠、若宮
備考	・生鮮食品は原則返品不可。それ以外の商品は3日以内であれば返品可 ・特売チラシ価格対応 ・商品の価格は原則店頭と同じ。生鮮食品等日ごとや時間帯で価格変動する商品は違う場合あり。

参考:「モリナガ」ネットスーパーのしくみ



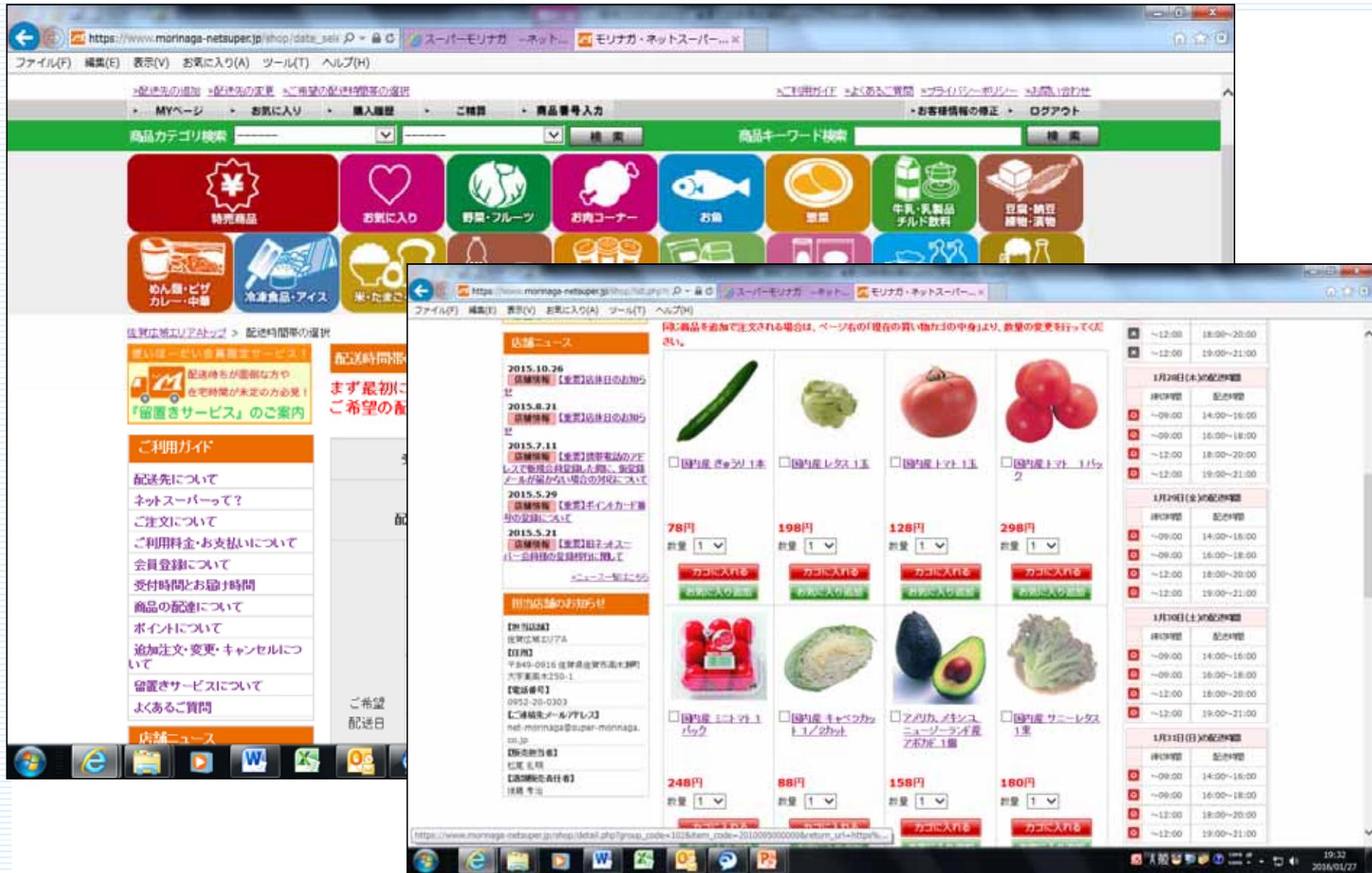
< 主な利用者 >

小さな子どもをもつ主婦層、親などの介護をしている主婦、買物に行かず配達してもらいたいという裕福な家庭、高齢者。買物が困難な高齢者のために離れたところに住んでいる家族が注文する事例が増えてきた。

< 業者(モリナガ)が抱える課題 >

対面での対応でないため、注文者のニーズと配送した商品のズレ(特に生鮮食品等)が生じることが少なくなく、商品選別が難しいとのこと。

参考：「モリナガ」ネットスーパーの注文画面



参考：その他ネットスーパーの資料

	【人気ランク1位】イトーヨーカドー	【人気ランク2位】イオン	【人気ランク3位】西友
概要	最大の魅力は、約3万アイテムというダントツの品数の豊富さと全国に対応店舗（80店舗）あるということ。「セブンプレミアム」は、「2008年日経優秀製品最優秀賞」を受賞しており、手頃な値段で安心・安全にこだわった商品が購入できる。注文した魚や肉などをさばいたり挽肉にしてくれるなど、わがまま注文にも応えてくれるのが人気の秘密。	近くの店舗からの商品発送のため、近くに店舗がないと利用できないが、日本全国の多くのエリアに対応。人気のプライベートブランド「トップバリュ」も扱っている。商品は新鮮なまま届けられ、当日15：00までの注文でその日中に配達される。ネットW A O Nポイントもたまる。	対応エリアは、首都圏が中心で、イトーヨーカドー、イオンに次いで多い。取扱商品は、食料品や雑貨などを中心に一通りそろっており、特売品が一覧できるのも特長。即日配達の受付が17時までと、他社と比べて一番遅くまで受け付けている。「野菜や刺身など、鮮度の良いものをいつも持ってきてくれる」と定評がある。
取扱商品	・生鮮食品、日用生活用品、ペット用品、家電、ギフト、ベビー用品など約3万アイテム	生鮮食品、デイリー、デリカ、卵、乳製品とチルド飲料、フローズン、調味料・調理素材・クイックフーズ、お米、飲料・嗜好品、お菓子、パン、お酒	食品・雑貨類を中心に扱っており、一般的にスーパーで扱っている商品約4,000点
入会金等	入会金・年会費無料	入会金・年会費無料	入会金・年会費無料
支払方法	クレジットカード、代金引換	クレジットカード、代金引換、W A O N	クレジットカード、代金引換
ポイント制	クレジットカード払いで、200円につき1ポイント（サイトでのポイントの利用不可）	ネットW A O Nポイント200円につき1ポイント	なし

参考：その他ネットスーパーの資料

	【人気ランク1位】イトーヨーカドー	【人気ランク2位】イオン	【人気ランク3位】西友
注文方法	インターネット（モバイル可）	インターネット（モバイル可）	インターネット（モバイル可）
配送料	エリアごとに異なる。江東区では、315円（7000円未満）、無料（7000円以上）	324円〔税込〕※一部店舗で5,000以上無料	525円（5,000円未満）、無料（5,000円以上）
配達時間	12～21時（一部12～22時）	エリアごとに異なる。墨田区では12～22時	14～21時（2時間幅の指定可能）
配送締切	注文時に、配送可能時刻が表示されるシステム	エリアごとに異なる。15時注文まで当日配達可能	当日の11時、13時、15時、17時（翌日分まで可）
対応エリア	北海道・青森県・岩手県・宮城県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・東京都・千葉県・神奈川県・新潟県・山梨県・長野県・静岡県・愛知県・奈良県・京都府・大阪府・兵庫県・岡山県・広島県 ※一部地域を除く	日本全国（北海道、福井県、徳島県を除く）	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県 ※一部地域を除く
備考	・不在時は、不在連絡票 ・8のつく日5%off　・配送料80円 *一地域、時間に条件有り	・不在時は、不在連絡票	・不在時は、不在連絡票（再送料がかかる）

議題(2) 来年度の高情協の活動の方向性について

前回の議事【3】「来年度の高情協の活動の方向性について」を踏まえ、**既存事業の改善や新規事業のアイデアなどについてご議論**いただき、来年度の事業計画に反映する。

～主な議論のポイント 前回幹事会意見等より～

① 情報リテラシー・セキュリティ事業について

- ・ポスターコンクールに係る会員企業の負担（広告協賛、ノベルティグッズ）について
 - ⇒ 高情協予算からの事業費支出については、4月幹事会で了解済（今年度は、外部助成金に採択されたことから未支出）
 - ⇒ （メリット）個別企業名の表示 （デメリット）会費以外の負担
- ・児童生徒、若い母親に向けた利用ガイドラインの策定や出前授業・啓発教材づくりについて
- ・民間推進団体作成の普及啓発映像の県民への視聴の推進及び視聴後の意見交換について

議題(2) 来年度の高情協の活動の方向性について

～議論のポイント 前回幹事会意見等より～

② ICT普及に関する講習会について

- ・講習会と講演会の連携について（企画Gの継続検討）
- ・講演会補完事業としての、I C T利活用を先行されている企業、公共団体等の好事例の視察

③ I C T 普及に関する講習会について

- ・講演会と講習会の連携について（再掲）
- ・企業や自営業の方に向けた講習について
- ・会員主催の講習会との連携について
- ・買い物困難者対策実証事業との連携について
- ・若年層向けの講習について
- ・開催事務の委託について

④ICT利活用調査研究について

- ・今後の調査研究の継続について

議題(2) 来年度の高情協の活動の方向性について

～議論のポイント 前回幹事会意見等より～

⑤ICT利活用推進団体支援事業補助金について

- ・交付団体が今後力を入れていきたい取組内容について

⑥講師スキルアップ研修会について

⑦ネットワーク・広報事業について

⑧中期推進項目③関係について

- ・行政手続の遠隔化や安否見守りなどのサービスに関する事業について

その他

- ・若手中堅の研究会の設置について
- ・学習コンテンツの作成について
- ・情報化に関する相談窓口機能について

参考：前回幹事会でいただいた事業内容に係るご意見

【既存事業に係るご意見】

①講演会について

- ICTに関する講演会は、内容もタイムリーなもので大変参考にさせていただいております。講演内容を補完するためにICT利活用を先行されている企業、公共団体等の好事例を実際に視察することも、これから導入を検討されているところには参考になると思いますので、検討をお願いします。

②初心者向け講習会について

- 高情協主催のICT講習会を広報など経費をかけて単発で開催されるより、その経費をシニアの団体の講習会開催費用の増額に充てれば講習回数も増やせます。
- 現在高情協関係で続けている「初心者向けのインターネット利活用・普及推進」活動を続ける。その中で、特に、地域公民館関係でインターネット利活用・普及推進活動を進めるのが必要

参考：前回幹事会でいただいた事業内容に係るご意見

②初心者向け講習会について（つづき）

- 「初心者向けのインターネット利活用・普及推進」の初心者＝高齢者をイメージしての企画となっているような気がします。ネットの閲覧者を増やすことより、もっと企業や自営業の方に向けたセキュリティ初心者、ネットショッピング初心者、クラウド初心者など事業に活かせる企画もいかがでしょうか。
- 高情協の会員さまからメリットがないとのお声があると聞いています。講演会のみでなく、実際に一步を踏み出せる講座があればいいのでは。
- シニア層向けに偏っている印象。情報弱者は意外に若い人に多い（セキュリティ面等）と思うので、若い人にターゲットを向けた事業を増やしてほしい。

参考：前回幹事会でいただいた事業内容に係るご意見

③調査研究事業について

- ここ数年、「シニアのICT利活用促進に向けた調査研究」を進めているが、現状考えられる促進に行き詰まり感がみられる。この事業を継続するのであれば、ターゲットの洗い直し、方法論の模索などが必要だと考える。

④情報リテラシー・セキュリティ事業について

- 2016年度は県立高校でのICT教育が全学年に行き渡ります。高情協で各校にリテラシーやモラルの出前授業や啓発教材づくりを進めたらどうでしょうか？
- IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)、JNSA(NPO日本ネットワークセキュリティ協会)などに、作成した情報セキュリティ啓発ビデオをWWW上に公表して貰う。高情協関係団体で、県民が、そのビデオを観る運動を進める。ビデオを素材に情報セキュリティについて県民が語り合う場を設ける。

参考：前回幹事会でいただいた事業内容に係るご意見

- ネットモラル・情報リテラシーの普及・啓発活動について、高情協は「シンクタンクの」な立場で、物心両面から後方支援に回った方がいいのでは。（県警やITサポートさがの活動など）

【新規事業に係るご意見】

- 会員からの意見（アンケート）等を取り入れて、必要な事、困っている事などを事業内容に入れられないか。

①勉強会の設置

- 高情協の参加団体から、若手・中堅の有志の参加を求め、その若手・中堅が中心となり研究会を開催

参考：前回幹事会でいただいた事業内容に係るご意見

②教育ポータルサイト機能の強化

- 「教育ポータルサイト」の設置を提案致します。内容としては、講習会開催案内一覧などを含む。高情協が中心になるのも良いと思います。支えきれぬかどうかということの検討が必要です。コンテンツのメンテが極めて大切だと思います。その維持体制を作る必要があります。県民から見て、「自分が何処に行けば良いか、容易に分かる」必要があります。コンテンツの提示の方法について、深く考慮し、またそのレベルを維持する必要
- 他団体などとの重複事業や、様々な組織団体が情報化関係での相談の場がわからないなどの声を聴くことから、以前も提案しましたが、高情協が情報化に関する窓口になるようWebページや事業内容も変化を進め、既存事業に重複事業があるものは他団体に任せる方向を徐々に進めていくことはどうでしょうか。

参考：前回幹事会でいただいた事業内容に係るご意見

③中期推進項目③関係

- ICTを利用した「行政手続きの遠隔化」や「安否確認・見守りサービス」のようなものが考えられます。すべて実現していくには様々な課題があると思いますが、事業として取り上げてはいかがでしょうか。

議題(3) 高情協HP再構築後における広報活動の方向性について

< 方向性 >

再構築後のHPの目指すところ = 「情報化」に関する
「まとめサイト」
情報化に関して何か知りたかったら「まずは高情協HP」

< そのための取組 >

HP（待機型）とFB（プッシュ型）の特徴を踏まえた更新
「会員情報」（講習会や新技術、新サービス、情報セキュリティコンテンツなど）の充実
高情協HP・FBのリアルの世界での告知活動
主催事業等における「いいね！」を押してもらう時間の確保

< 取組の指標 >

- ・PV（月平均6,700PV）の向上
- ・直帰率（65%）の低減
- ・FBの「ページいいね！」数（現在173）の向上など

参考資料

- 1．新HPのコンテンツ内容の概要について
- 2．高情協Facebookページ画面について
- 3．高情協YouTubeチャンネル画面について
- 4．広報フローについて

1. 新HPのコンテンツ内容の概要について 1/6

[トップページ (上半分)]

高情協事業を中心に、イベント内やイベント内容報告等の新着情報を通知

佐賀県高度情報化推進協議会 KOJOKYO

会員ログインボタン
会員専用ID・PASSを入力

会員ログイン
会員の皆様へ

トップページ | 高情協について | 会員紹介 | 講演・研修会 | 情報セキュリティ

各種メニューボタン (後で説明)

高情協からのお知らせ [RSS](#)

- NEW!** Windows10についてのスキルアップ研修会を開催しました
ICTに関する技術的な側面についてのスキルアップを目的とした「スキルアップ研修会」を実施しました。
- NEW!** 平成27年度第2回ICT活用講演会開催
本講演会には、県内外から約110名の方に御参加いただきました。
- NEW!** 大学・公民館とのコラボ企画を実施しました！
「赤松文化まつり」へのICT体験コーナー等の出展、「iPad初心者セミナー in 赤松公民館」を開催しました。

フェイスブックで随時情報発信中!

佐賀県高度情報化推進協議会
いいね!済み 173 いいね!の数

佐賀県高度情報化推進協議会
18時間前

【「ふるさとテレワーク推進会議」が鳥栖市で開催されます】
現在、複数の地域で実施されている総務省実証事業「ふるさとテレワーク」の実施状況の把握・助言や周知啓発活動を目的とした「ふるさとテレワーク推進会議」が、2月8日(日)に鳥栖市で開催されます。
当日は、11月18日に本協議会主催の講演会においても取り上げられた、佐賀県が鳥栖市等と展開している「テレワークで人を活かす!九州・みらいジャンクション創出事業」を含め、全国4地区の事業の進捗状況の報告を聴くことができます。...

もっと見る

総務省 | ふるさとテレワーク推進会議 | ふるさとテレワーク推進会議 (第3回) 開催中

高情協FB・最高情報統括室FBにリンク

ピックアップインフォ

- 「たそがれの時代」が電子書籍になりました。
- 広い大地の中で育まれた至福の玉ねぎをお届けします!
- SNS活用セミナーを開催しました。
- Wifiセミナーを開催しました。
- 情報発信研修を開催しました。
- CMSで簡単ホームページ運営をはじめませんか?

さらに情報を表示 ▶

各会員が会員専用ページからアップした内容が掲載

各種SNSへのシェアボタン

高情協のWEBサイトをシェアして広げよう!

Facebook | Twitter | Google+ | LINE

1. 新HPのコンテンツ内容の概要について 2/6

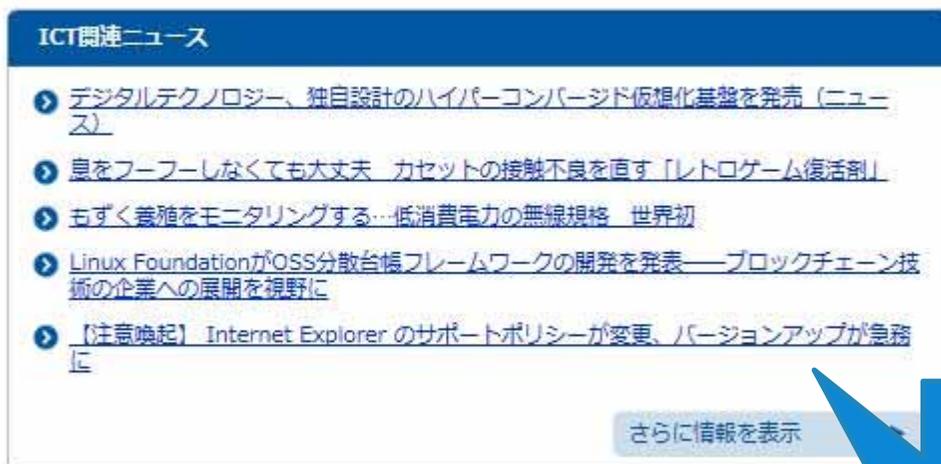
[トップページ (下半分)]



「高情協YouTubeチャンネル」
にリンク

バナーエリア

関係団体のリンク



ICT関連サイトの新着情報が自
動的に配信される

登録サイトは以下の5つ

- ・ITpro by 日経コンピュータ
- ・ITmedia
- ・東京IT新聞
- ・@IT
- ・IPA (情報処理推進機構)

佐賀県高度情報化推進協議会

[事務局]

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1-1-59 佐賀県統括本部 情報・業務改革課内

TEL:0952-25-7035 FAX:0952-25-7299

1. 新HPのコンテンツ内容の概要について 3/6

[高情協について]

佐賀県高度情報化推進協議会
KOJOKYO

会員ログイン
会員の皆様へ

トップページ 高情協について 会員紹介 講演・研修会 情報セキュリティ

トップページ > 高情協について

高情協について
規約・入会案内

メニュー項目

高情協について
(沿革を含む)
規約・入会案内

ここに「幹事会専用ページ」が入ります。

沿革

平成元年

- 会則の制定 (10月26日)
- 設立総会 (11月29日)
- 情報化講演、研修会、情報化交流会、自治体連絡会などの事業を開始

平成2年

- 「全国ニューメディア祭プレシンポジウム」を開催
- 「さが地域情報化展」を開催 (佐賀市)

1. 新HPのコンテンツ内容の概要について 4/6

[会員紹介]



トップページ > 会員紹介

- ▶ 会員紹介
- ▶ メディア・通信・電器など
- ▶ ソフトウェア・情報処理サービスなど

会員紹介

- メディア・通信・電器など
 - ・ 佐賀新聞社
- ソフトウェア・情報処理サービスなど
 - ・ 株式会社サインズ

ココをクリックすると
佐賀新聞社の会員ページへ

メニュー項目

- 以下の6グループごとに会員ページを掲載
- ・メディア・通信・電器など
 - ・ソフトウェア・情報処理サービスなど
 - ・市民社会組織・個人
 - ・各種団体・学校
 - ・地方自治体
 - ・特別会員

1. 新HPのコンテンツ内容の概要について 5/6

[講演・研修会]

佐賀県高度情報化推進協議会
KOJOKYO

会員ログイン
会員の皆様へ

トップページ 高情協について 会員紹介 **講演・研修会** 情報セキュリティ

トップページ > 講演・研修会

講演・研修会

- 「『働き方の選択肢が増える』参加者から期待の声多数」～平成27年度第2回ICT活用講演会開催～
- 平成27年度第1回ICT活用講演会
- 大学・公民館とのコラボ企画を実施しました ～「赤松文化まつり」・「iPadミニセミナー」～
- Windows10についてのスキルアップ研修会を開催しました

講演・研修会

- 「『働き方の選択肢が増える』参加者から期待の声多数」～平成27年度第2回ICT活用講演会開催～
- 平成27年度第1回ICT活用講演会
- 大学・公民館とのコラボ企画を実施しました ～「赤松文化まつり」・「iPadミニセミナー」～
- Windows10についてのスキルアップ研修会を開催しました

メニュー項目

高情協事業を中心に、イベント案内やイベント内容報告等の情報を掲載

ココをクリックすると
「スキルアップ研修会」の記事へ

1. 新HPのコンテンツ内容の概要について 6/6

[情報セキュリティ]

佐賀県高度情報化推進協議会
KOJOKYO

会員ログイン
会員の皆様へ

トップページ 高情協について 会員紹介 講演・研修会 **情報セキュリティ**

トップページ > **情報セキュリティ**

情報セキュリティ

『情報セキュリティ』に関する内容を随時掲載していきます。また、情報セキュリティを初めとしたIT関連のサイトを紹介しています。

- [セキュリティについて確認下さい](#)
- [ネット寺子屋](#)
- [佐賀県警サイバー犯罪対策室より](#)

ココをクリックすると「ネット寺子屋」のページへ

メニュー項目

情報セキュリティに関連する記事、リンク先を掲載

2. 高情協Facebookページ画面について

高情協の進化を求めて
佐賀県高度情報化推進協議会
地域団体

KOJOKYO

コールドウアクションを作成

タイムライン 基本データ 写真 いいね! もっと見る +

いいね! 173件 今週 +2件

今週の投稿のリーチ834人

ページフィードを表示
他のページの投稿を表示

友達に「いいね!」をリクエスト

¥594でページを宣伝
日本の人々にリーチを広げる

ページを宣伝

情報

佐賀県 佐賀市
城内一丁目1番59号

0952-26-7035

https://www.sagakojo... ウェブサイトを宣伝

ステータス 写真・動画 クーポン、イベントなど

何か書く...

佐賀県高度情報化推進協議会
作成者: 平川 善規 [7] · 18時間前 · 非公開

【「ふるさとテレワーク推進会議」が鳥栖市で開催されます】

現在、複数の地域で実施されている総務省実証事業「ふるさとテレワーク」の実施状況の把握・助言や周知啓発活動を目的とした「ふるさとテレワーク推進会議」が、2月8日月曜日に鳥栖市で開催されます。

当日は、11月18日に本協議会主催の講演会においても取り上げられた、佐賀県が鳥栖市等と展開している「テレワークで人を活かす!九州・みらいジャンクション創出事業」を含め、全国4地区の事業の進捗状況の報告を聴くことができます。... もっと見る

総務省 | ふるさとテレワーク推進会議 | ふるさとテレワーク推進会議 (第3回) 開催案内

議題 (予定) : 地域実証事業の進捗報告及び質疑応答 意見交換

広告を出す

今週

2
ページのいいね!

834
投稿のリーチ

0
ウェブサイトクリック

最近

2015年

2014年

2013年

2012年

1989年

3. 高情協YouTubeチャンネル画面について

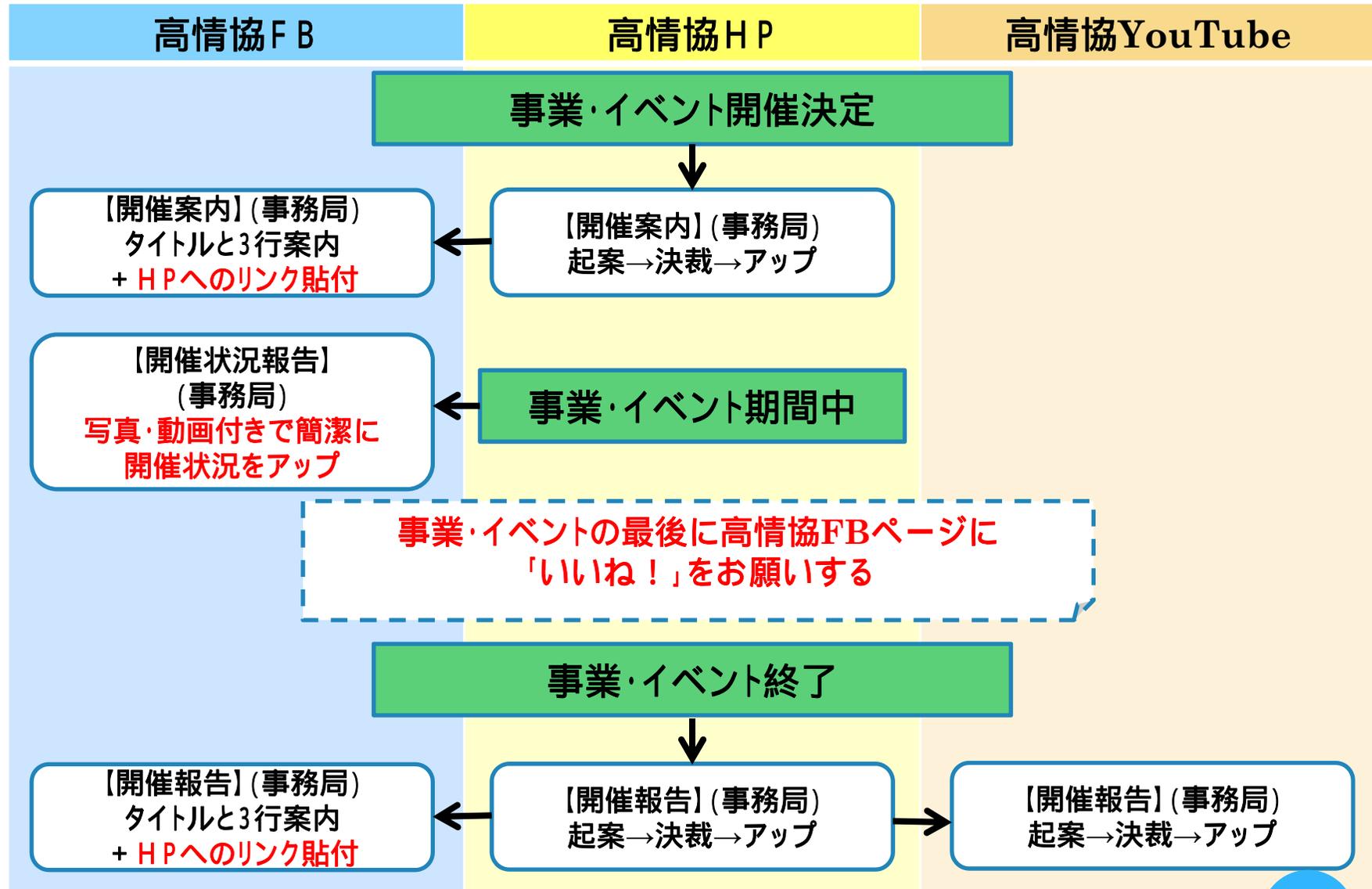


[ココ](#)をクリックすると「第2回ICT利活用講演会(森本会長の講演)」の動画へ

アップする動画
高情協事業動画、佐賀県警提供動画、ITサポートさが提供動画、会員PR動画等

4. 広報フロー【高情協事業・イベント情報アップ編】

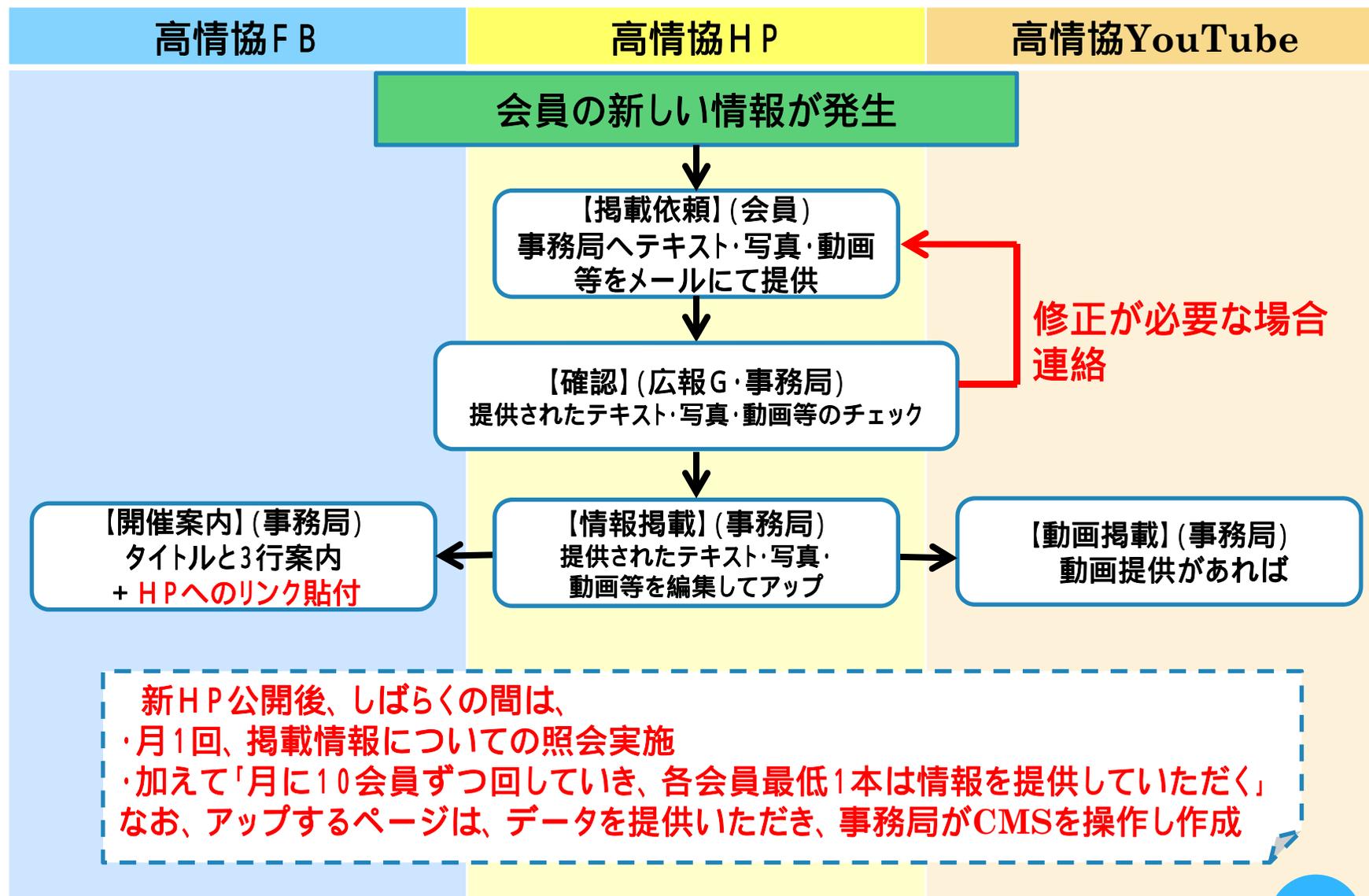
広報活動のフローチャート【高情協事業・イベント情報アップ編】



4. 広報フロー【会員情報アップ編】

公開後一定期間

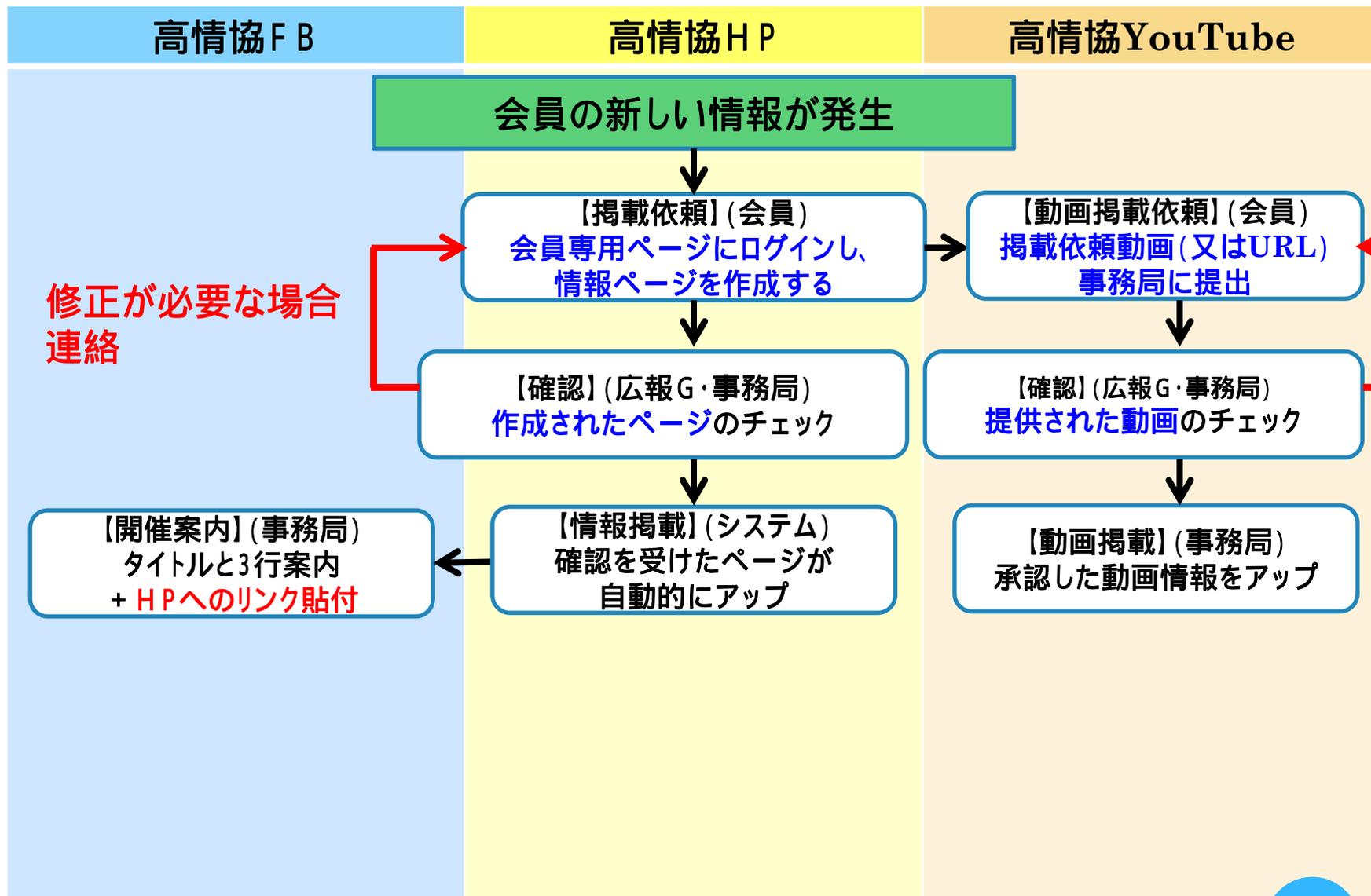
広報活動のフローチャート【会員情報アップ編】



4. 広報フロー【会員情報アップ編】

将来的な流れ

広報活動のフローチャート【会員情報アップ編】



4. 広報フロー【コンテンツ管理における注意点等】

【注意点】

○ F B ページにおいては、I C T 関連最新ニュースを広報 G ・事務局で**気づいた者がスピーディにシェア**していく。

→ **更新頻度が上がる！**

○ F B ページに掲載する際は、**写真や動画**を積極的に貼りつけ

→ **リーチが上がる！**

【検討項目】

○ H P に**会員のみが有用な情報**を得られるようなコンテンツを入れることはできないか？

○ H P トップのバナーエリアに、**会員の広告**を掲載することはできないか？

⇒ 例えば、月に10会員を1セットとして、月ごとに変更 など

第3回ICT利活用講演会について

- テーマ案 : これまでの振り返りと未来に向けて (仮)
- 講師 : 森本 登志男 会長
- 趣旨 : 5年間の任期を振り返るとともに、佐賀の未来に向けた期待と課題について提言する。

- 開催日 : 平成28年3月15日 (火) 15:00~16:30
- 会場 : マリトピア 吉祥の間
- 内容 : 第1部 高情協の活動報告
第2部 講演 (CIOへの公開インタビュー形式)
※インタビューについては、SAGATVと調整中

講演会終了後、懇親会を実施

その他 第6回幹事会開催予定について

1月 January (睦月)							2月 February (如月)							3月 March (弥生)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1 友引	2 先負		1 仏滅	2 大安	3 赤口	4 先勝	5 友引	6 先負			1 大安	2 赤口	3 先勝	4 友引	5 先負
3 仏滅	4 大安	5 赤口	6 先勝	7 友引	8 先負	9 仏滅	7 仏滅	8 先勝	9 友引	10 先負	11 仏滅	12 大安	13 赤口	6 仏滅	7 大安	8 赤口	9 友引	10 先勝	11 仏滅	12 大安
10 赤口	11 先勝	12 友引	13 先負	14 仏滅	15 大安	16 赤口	14 先勝	15 友引	16 先負	17 仏滅	18 大安	19 赤口	20 先勝	13 赤口	14 先勝	15 友引	16 先負	17 仏滅	18 大安	19 赤口
17 先勝	18 友引	19 先負	20 仏滅	21 大安	22 赤口	23 先勝	21 友引	22 先負	23 仏滅	24 大安	25 赤口	26 先勝	27 友引	20 先勝	21 友引	22 先負	23 仏滅	24 大安	25 赤口	26 先勝
24 友引	25 先負	26 仏滅	27 大安	28 赤口	29 先勝	30 友引	28 先負	29 仏滅						27 友引	28 先負	29 仏滅	30 大安	31 赤口		
31 先負																				

ICT講演会

ICT講習会

ポスターコンクール表彰式

本日の幹事会

□ ……幹事会開催候補日

※事前調査 11日 (19人出席可能)
17日 (21人出席可能)